



表紙

紙の土人形を見てとても懐かしくなりました。子ども頃の家にありました。リニューアルされてから読みやすいです。明日への扉も来月はどなたかな?と思いつきながら楽しみにしています。神奈川に住む叔母が送り物と一緒に入れた2月号を見て輝北の星空が見たいと言っていました。(南風さん・57歳・女性)

土人形は日本古来の伝統工芸品の人形で、泥絵具で彩色して素朴な味わいが多いの人に愛されているようです。笠之原町公民館に展示されていた土人形は「ひなじよ」と呼ばれています。「ひなじよ」とは鹿児島弁で雛人形のことです。その言葉の響きだけでも懐かしい気がしますね。また、叔母さまへの贈り物の中に「広報かのや」を一緒に入れていただいていることに感銘を受けました。これからも、読んで楽しくなる充実した広報紙を目指していきますので、ふるさと鹿屋の情報発信に役立ててくださいね。

新

入生が心配なこの頃です。川西町内で交通安全指導を54年間もなさっていた男性が、3月で辞任されました。54年間!お仕事をされながら、大雨の日、寒い日、朝早くから車社会のなか子どもたちを守るのに立哨されました。ご家族の協力もあり、長い間ありがとうございました。(K・Sさん・67歳・女性)

お便りありがとうございました。小・中学生の頃、交通指導をしてくださっていた近所のおじさんの「おはよう。気をつけて元氣に行つてらっしゃい。」の声に励まされたことを思い出します。

54年もの長い間、真冬や真夏、雨や雪の日もありますよね。また、万が一、ふと目を離れた際に子どもが事故にあつたらと考えると誰でもできる仕事ではないと思います。本当にお疲れ様でした。

2

015年4月に入籍しました。入籍の際に、婚姻届を持って2人で写真を撮って頂いて、最初は少し恥ずかしい感じでしたが、とてもいい記念になりました。ありがとうございました。(むーさんさん・36歳・女性)

鹿

ご結婚おめでとうございます。幸せなお二人の様子が目に浮かぶようです。これからも今の気持ちを忘れないで、素晴らしいご家庭を築いてください。いつまでもお幸せに。

鹿屋まで高速道路が開通したので、鹿児島空港への高速道路を利用したリムジンバスを運行してもらいたいです。度々帰省しておりますが、バスが長時間で不便しております。(市民の声直行便より)

空港バスは、運行会社が自主的に運行しているところです。本市では、今回の東九州自動車道及び大隅縦貫道の鹿屋地域までの開通を受け、市民や旅行者等の利便性向上のため、運行会社に対し、高速道路を利用した空港バスの運行について要請しているところであり、現在、運行会社において検討いただいているところです。今後とも、本市の重要な公共交通機関であるバスの利便性向上に努めてまいりますので、ご理解をいただきますようお願いいたします。

このほか、複数のおハガキをいただきます。今号で掲載できなかつたおハガキについては、ホームページで公開しています。

※キリトリ線

8 9 3 - 8 5 0 1

No.225

市民の皆さんからの お便りを募集

広報紙への感想や、市へのご意見のほか、地域のイベントや出来事、お勧めスポットなど多くの情報もお寄せください。

お便りをいただいた方の中から、抽選で特産品等をプレゼントします。たくさんのご応募をお待ちしています!

※掲載時に、原稿の一部を手直しする場合もございます。

〒893-8501 鹿屋市共栄町 20-1
市広報広聴課
「市民のひろば」係

☎ 31-1123



お手数ですが
52円切手を
お貼りください

鹿屋市役所 広報広聴課
Kanoya 「市民のひろば」係 行

お名前/ふりがな

電話番号

ペンネーム ※未記入の場合、イニシャルで掲載します

年齢/性別

歳 男 ・ 女

ご住所 □□□-□□□□

ご希望のプレゼント

A ・ B